

「肝・胆・膵外科における膵頭十二指腸切除術，治療成績の検討」へのご協力をお願い

- 1998年1月1日から2014年4月30日までに当科で膵頭十二指腸切除術を受けられた方へ -

研究機関名 岡山大学

責任研究者 岡山大学病院 低侵襲治療センター 助教 吉田龍一

分担研究者 岡山大学病院 肝・胆・膵外科 医員 高木弘誠

1. 研究の意義と目的

膵頭十二指腸切除術は肝胆膵外科で扱う手術の中でも侵襲の大きい手術の一つであり，術後の合併症の頻度，死亡率は高いと言われています。日本全国のデータでは，膵頭十二指腸切除術後の死亡率は3.3%と報告されており，施設間の差がある，と言われています。当科ではこれまで15年間で約400件の膵頭十二指腸切除術を行っております。この研究は，これまでの治療成績を調べることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

1998年1月1日から2014年4月30日の間に，岡山大学病院の肝胆膵外科で膵頭十二指腸切除術を受けられた患者様，約400人を対象とします。

3) 研究方法：

過去のカルテを用いて患者さまの病歴，術後経過，治療成績の確認を行います。これらは過去のカルテの確認であり，この研究に参加することにより特別の負担が増えることはありません。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが，あなたの個人情報は削除し匿名化し，個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢，性別，身長，体重，既往歴，血液検査結果，病理学検査
- ・ 術式，手術時間，出血量，術後経過（入院期間，合併症・死亡率の頻度）など

5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学肝胆膵外科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し，その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です（研究期間終了後2年間保存させていただきます）。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 肝胆膵外科

氏名：高木弘誠，吉田龍一

電話：086-235-7257 ファックス：086-221-8775